



特定非営利活動法人

カシオペア医療介護支援センター

事務局 二戸市福岡字八幡下11番地1

☎ 0195-26-9335 FAX 0195-26-9336

e-mail himehotaru.npo@gmail.com

特定非営利活動法人(NPO法人)

カシオペア医療介護支援センターの
活動の方向性について

令和6年4月1日

特定非営利活動法人カシオペア医療介護支援センター

「ひめほたるネット」の活動から発展して、カシオペア医療介護支援センターが設立され、その活動を継承しながら、次への活動に繋げていこうとしています。

令和4年2月 「非営利特定活動法人カシオペア医療介護支援センター」設立

理事長に岩手県立二戸病院副院長 高橋 浩氏選出

サイボウズ（株）「kintone」の情報共有ツールを使用して地域内医療・介護連携強化を図るものとする。

内閣府設立認証 令和4年2月16日

法務局登記 2月22日

令和5年6月 NPO法人カシオペア医療介護支援センターのホームページ開設

<https://casiopea-net.or.jp/>



特定非営利活動法人カシオペア医療介護支援センターの目的

当法人は、カシオペア地域の住民が安心できる生活を実現するために、地域包括ケアシステムによる在宅医療介護連携推進に取り組むとともに、ICTシステムを活用した医療、介護、福祉の連携を図る活動を包括的に行うことを目的とする。

役員

理事長：高橋 浩

副理事長：菅原 光宏、中田 勇司

理事：森川 伸彦、金澤 悟、駒木 彬了、菊池 英理子、田中館 淳一

監事：川村 英一、生内 雅史（泉山 武將）

事務局

常勤職員：漆田 薫、高倉 希穂

嘱託職員：阿部 誠、田中館 淳一（理事兼務）



ピックアップ記事



2024.2.6
NPO法人事業及び「カシオペアNET」構築説明会の開催について

これまで「ひめぼたるネット」を中心に活動してきた医療・介護・行政を結ぶ「顔の見える連携」について、当...



2023.8.9
第15回「カシオペアフォーラム」の報告

令和5年7月21日、二戸パークホテルにて、主催・二戸市医師会、共催・当NPO法人カシオペア医療介護支...



2023.7.13
事業計画・報告書

当NPO法人カシオペア医療介護支援センターの事業計画及び報告書です。

お知らせ

[記事一覧](#) >

2024.2.6 NPO法人事業及び「カシオペアNET」構築説明会の開催について

2024.2.1 カシオペア地域 かかりつけ医マップを掲載しました 🗺️

2024.1.10 事業内容を更新しました 😊

2023.12.1 「広報にのへ」に、当NPO法人の記事が掲載されました!(^^)!

2023.11.24 🗺️ 令和5年度軽米町地域包括ケア推進協議会で当NPO法人の活動を報告しました

リンク・データ集

[記事一覧](#) >

2024.2.1 カシオペア地域 かかりつけ医マップ

2023.7.13 関連機関・施設リンク

2023.6.26 カシオペア地域 介護・福祉マップ

2023.6.26 ホームページ開設しました。

岩手県立一戸病院在宅医療科においてカシオペアNET（kintone） 訪問看護アプリの使用説明会を開催

令和5年9月25日、岩手県立一戸病院在宅医療科においてカシオペアNET（kintone）訪問看護アプリの使用説明を行ってきました。

これまで、二戸訪問看護ステーションで使用してきた実績をもとにカシオペア地域内での使用拡大を目指して一戸病院と軽米地域（軽米病院を通じての拡大）と話し合いを進めてきたなかでの取組みです。



説明会では、参加者の皆様から、患者さんの容態を医師、ケアマネージャー、薬剤師等と簡単に共有できるアプリの利便性に対して喜ぶ声が聞かれました。

これから一戸病院訪問看護における使用が進み、それに伴った医師、薬剤師及びケアマネージャー等の使用が増えてくれることを期待しています。

当法人は、情報通信技術（ICT）の活用で医療・介護・行政の連携を図りカシオペア地区の地域包括ケアシステムを構築することを目指して令和4年2月に設立いたしました。

○現在の活動について

カシオペアNETシステムの活用により、医療・介護・行政関係者がより連携しやすい環境を構築し「住民が安全で安心して医療・介護・福祉が受けられる地域」を目指して活動しています。

これまで在宅医療において紹介状や電話で共有していた患者さんの容態をカシオペアNETを使用することで、より早い治療に繋がっています。

また、利便性のあるシステムの開発や利用拡大に向けた研修会の開催や地域の課題について市町村関係者との意見交換も行っています。

○今後の展開について

患者さん一人ひとりに合わせたサービスを展開するためにシステム開発を進めるとともに医療・介護現場での円滑な連携をさらに進めていきます。

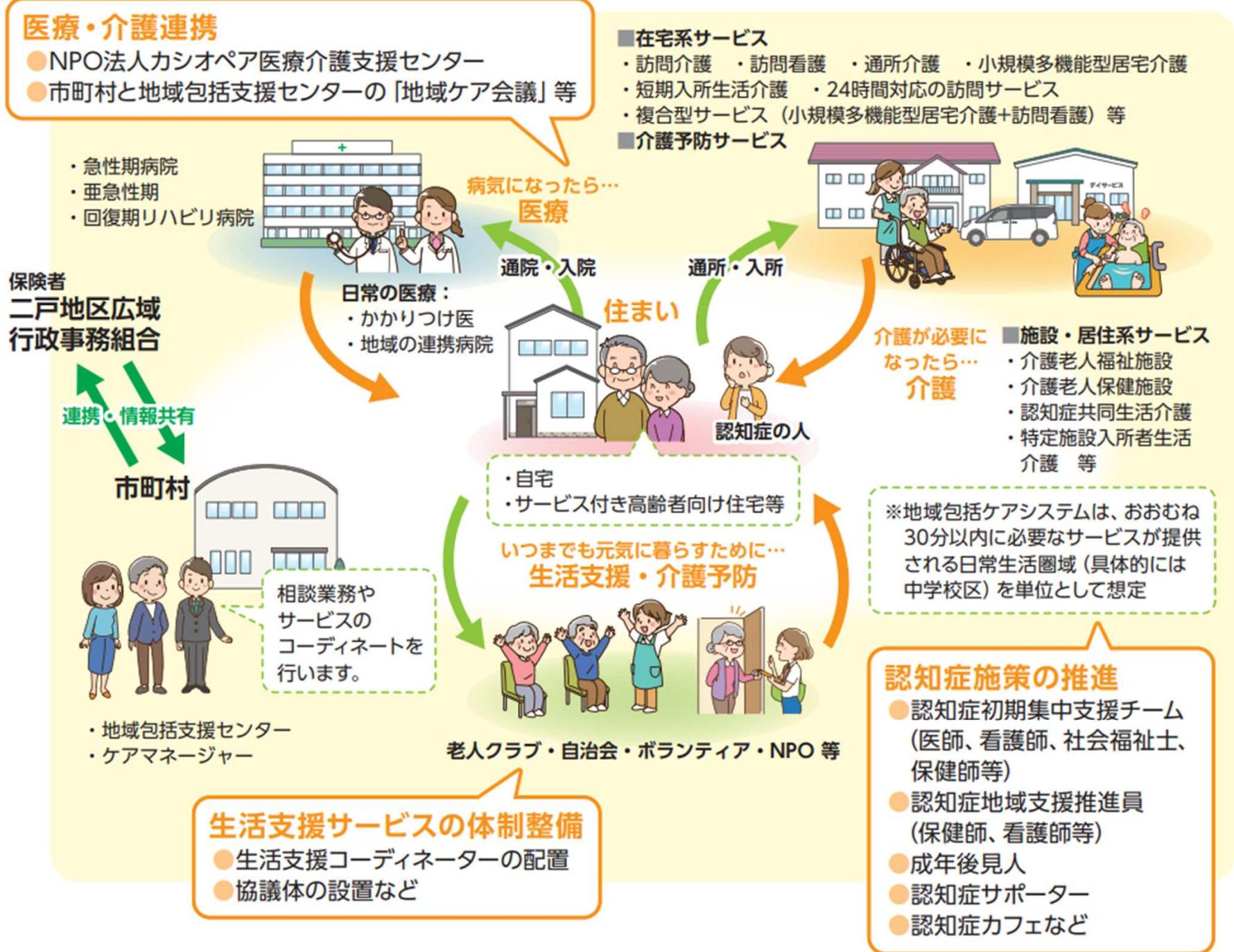
また、システム利用拡大により医療・介護従事者の負担軽減にも繋がるよう活動を展開していきます。

市町村では、2025年に向けて、3年ごとの介護保険事業計画の策定・実施を通じて、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じた地域包括ケアシステムを構築していくこととなります。

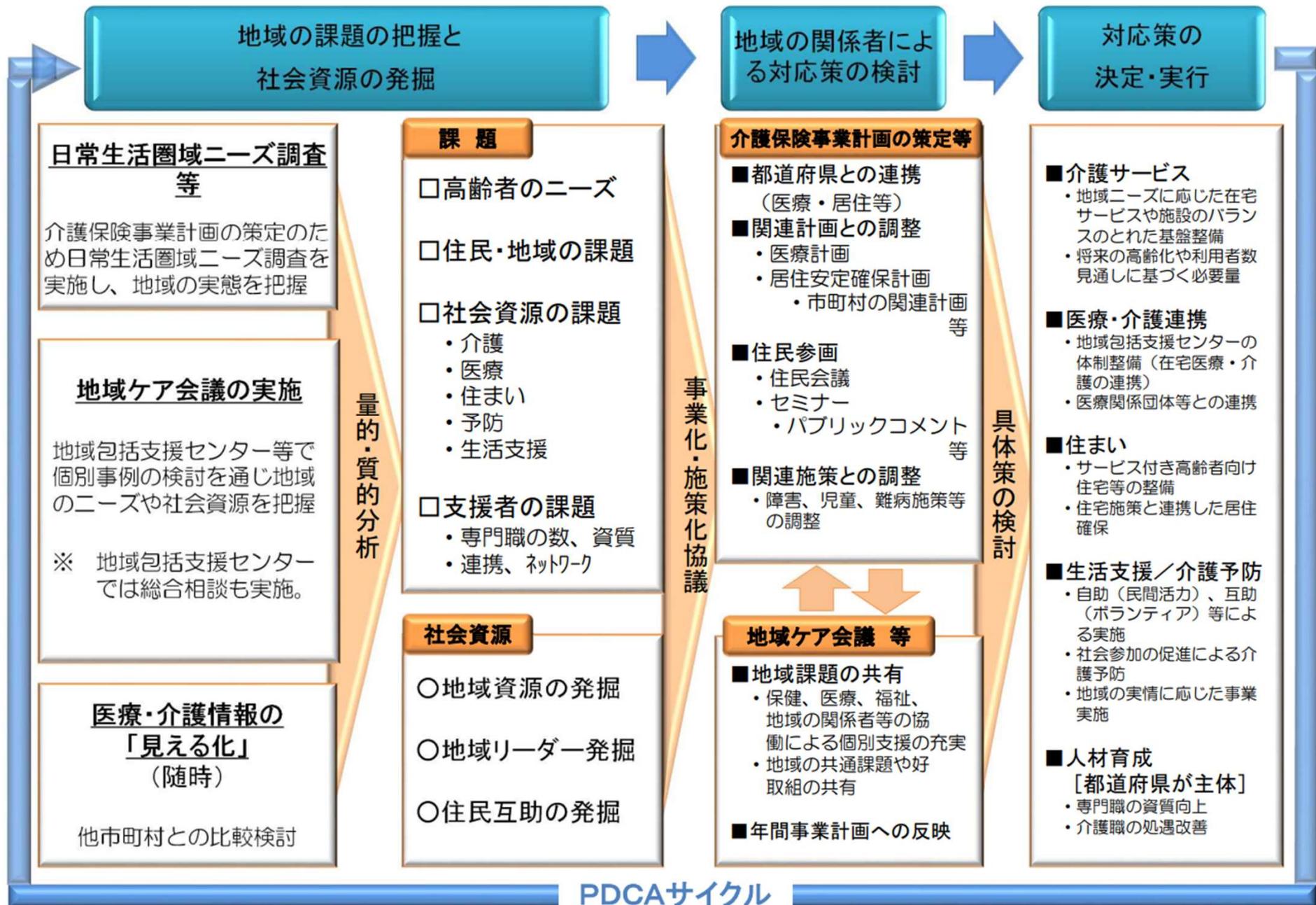
地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**ことが必要です。

地域包括ケアシステムの姿(二戸地区のシステムの深化・推進)

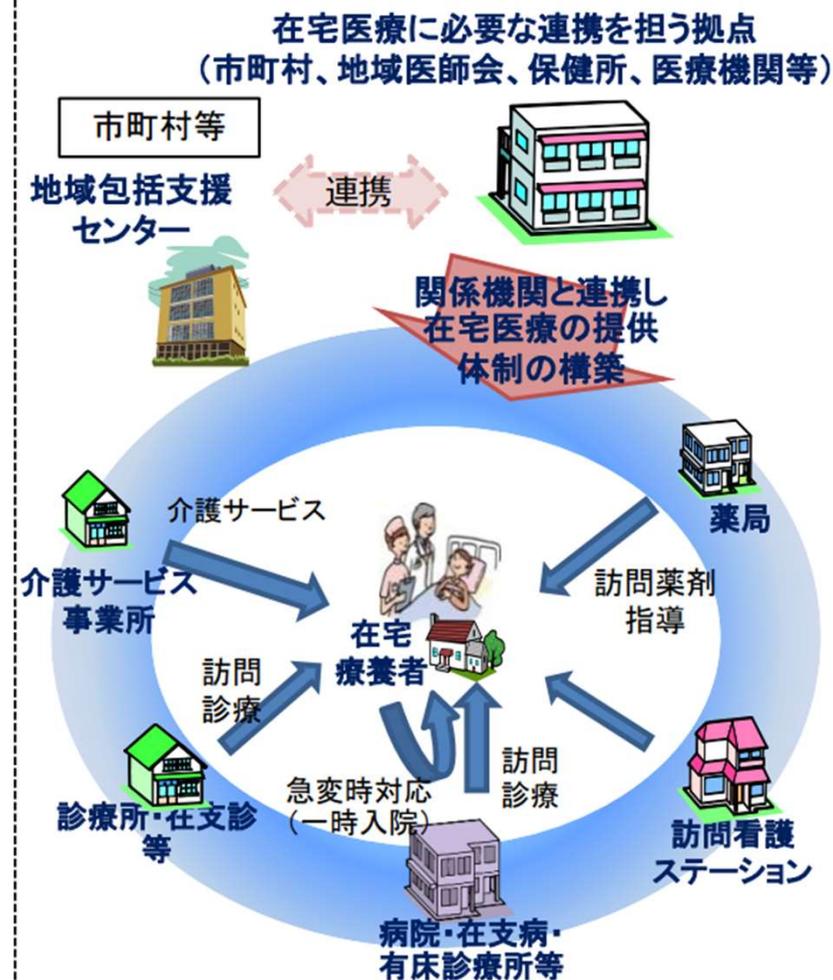


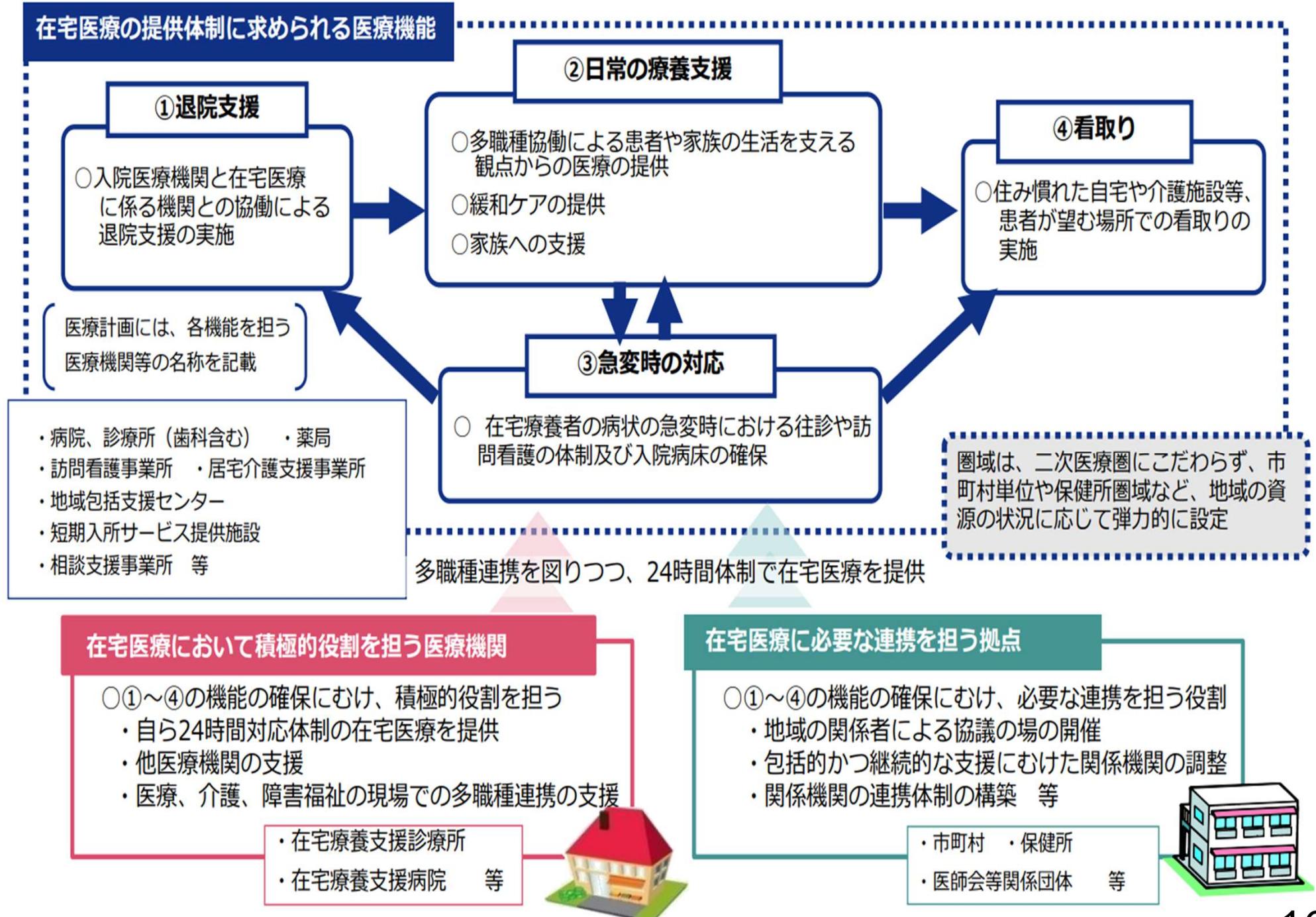
市町村における地域包括ケアシステム構築のプロセス(概念図)



当法人では、カシオペア地区の「在宅医療に必要な連携を担う拠点」としての対応を目指して、体制整備等に取り組んでいます。

- 在宅医療に必要な連携を担う拠点とは 市町村が行う在宅医療・介護連携推進事業の取組と連携を図ることが重要になります。
- 在宅医療に必要な連携を担う拠点に求められる事項は次のとおりです。
 - ・地域の医療及び介護等の関係者による会議を定期的開催し、在宅医療における提供状況の把握、災害時の対応を含む連携上の課題の抽出及びその対応策の検討等を実施すること
 - ・地域包括ケアシステムを踏まえた在宅医療の提供体制を整備する観点から、地域の医療及び介護、障害福祉サービスについて、所在地や機能等を把握し、地域包括支援センター等と連携しながら、退院時から看取りまでの医療や介護等のサービスにまたがる様々な支援を包括的かつ継続的に提供するように、関係機関との調整を行うこと
 - ・質の高い在宅医療をより効率的に提供するため、関係機関の連携による急変時の対応や24時間体制の構築など他職種による情報共有の促進を図ること
 - ・在宅医療に係る医療及び介護、障害福祉関係者に必要な知識・技能に関する研修の実施や情報の共有を行うこと
 - ・在宅医療に関する地域住民への普及啓発を実施すること





kintoneを利用した「カシオペアNET」が創造する地域包括ケアシステム

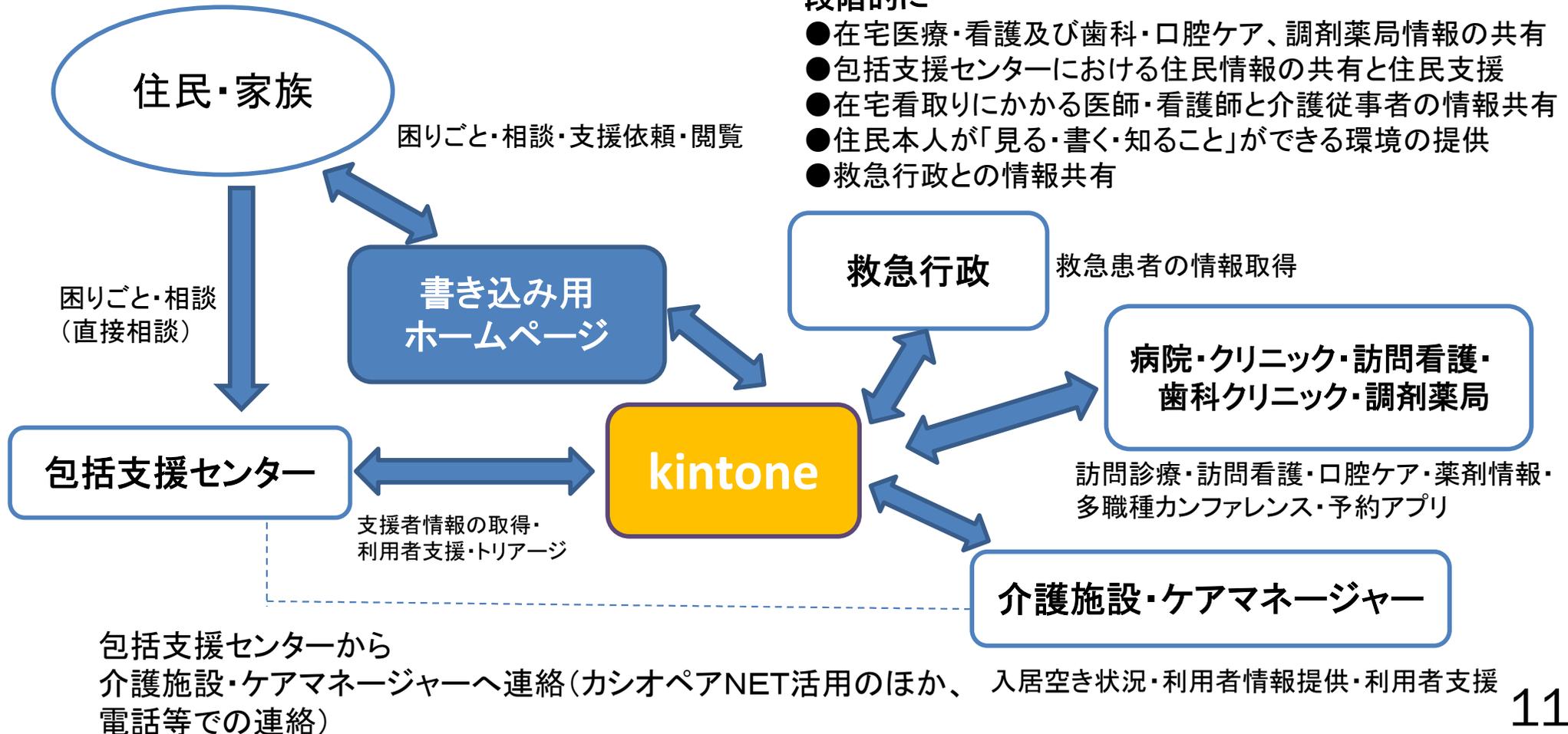
サイボウズ(株)のアプリソフトである「kintone」を本NPO法人では「カシオペアNET」という名称で活用しています。住民本人の情報を「見る・書く・知ること」ができることで、最適な医療・介護サービスを受けることができ、医療・介護・福祉関係者は必要な情報を共有することで最適な医療・介護サービス提供ができることで両者「WIN WIN」の地域環境が出来るようになります。

住民本人が自分の「健康手帳」(仮称)として「カシオペアNET」を活用し、最終的に介護の初期段階から看取りまでを地域で情報管理することが目標です。

この環境は2027年度中の完成を目標として2024年までに医療に関わるシステムの構築、2026年度までに介護関係、さらに2027年度には終末期患者の情報を救急行政が情報共有できるように進めていきます。

段階的に...

- 在宅医療・看護及び歯科・口腔ケア、調剤薬局情報の共有
- 包括支援センターにおける住民情報の共有と住民支援
- 在宅看取りにかかる医師・看護師と介護従事者の情報共有
- 住民本人が「見る・書く・知ること」ができる環境の提供
- 救急行政との情報共有



「カシオペアNET」が創造する地域包括ケアシステム

安心して医療・介護を受けられる地域と住民・家族と想いを共有し希望に満ちた人生を支援する地域の創造へ

カシオペア地域の住民が円滑な医療・介護・福祉行政を享受できるシステムを創造することを目的に、「カシオペアNET」を開発・使用・活用していきます。

特に、住民の方々が自身の状態や想いを閲覧及び入力発信できる住民本人のための「健康手帳」（仮称）機能を備えることを最終目的に段階的に進めていくこととします。

3段階に進めることとした計画については、次のとおりとなりますが、それぞれの段階の中では、住民への啓発や「カシオペアNET」を主に使用する従事者への趣旨・操作説明等の啓発活動について力を入れていくことが大きな課題となります。

なにより、医療・介護・福祉行政の大きな連携とNPO法人はもとより地域全体で住民の健康を守る意識を高めることを主題とします。

第1段階 First phase(ファースト フェーズ) 2022年度から 在宅医療・看護による在宅療養の推進と在宅介護連携に向けた情報の共有

- ・ 患者と在宅療養希望を共有し医師による在宅療養の指示発信
- ・ 患者及び家族と在宅医療従事者との療養情報共有の必要性について説明と承諾取得
- ・ 入所条件などの施設窓口情報の充実
- ・ 訪問看護師及びケアマネージャーによる在宅患者の状態と生活環境の確認とデータ化
- ・ 訪問看護師による在宅患者の容態・治療経過や意識変化についての記録
- ・ 医師との容態経過の共有と治療指示の発信
- ・ 情報共有シートを活用した患者・利用者情報の共有
- ・ 患者の治療経過を在宅医療従事者(医師・歯科医師・薬剤師・看護師・ケアマネージャー)
によるカンファレンスによる情報共有と治療方針の確認(zoom活用による時間負担軽減)
- ・ 包括支援センターが在宅介護移行にかかり必要な患者情報の取得
- ・ 「カシオペアNET」使用にかかる収入確保のため、参加施設等からの参加費徴収を開始

第2段階 Second phase(セカンド フェーズ) 2025年度から 在宅介護における利用者情報の共有と本人・家族が希望する円滑な施設 入所を推進する包括システムの構築

- ・ 利用者・家族の希望する在宅介護の聞き取りと共有
- ・ 歯科・口腔ケア情報の取得・入力
- ・ 調剤薬局の在宅情報の取得・入力
- ・ 利用者の情報共有で包括支援センター及びケアマネージャーによる介護度に応じたケアプランの支援
- ・ 希望介護施設の確認と施設入所までのプロセス管理
- ・ 医療から介護に移行した利用者の容態及びケア状態の記録
- ・ 介護従事者及び医療従事者とのカンファレンスによる介護状態の共有(「カシオペアNET」とzoom連動活用による時間負担軽減)
- ・ 在宅看取りにかかる医師と介護従事者の共有
- ・ 包括支援センター等行政による患者動向のデータ取得による地域在宅療養の実態把握

第3段階 Third phase(サードフェーズ) 2027年度から
住民・患者情報の本人利用、住民個人の希望に従事者全体で共有できる
アプリ開発で地域全体で共有する包括システムへ

- ・ 「カシオペアNET」を活用した利用者・家族も参加するカンファレンスの実施
- ・ 住民が自身の状態を閲覧することができ、さらに状態を入力できる「健康手帳」(仮称)
機能を作成して活用する
- ・ 住民が事前確認書(ACP)作成することができる
- ・ 終末期患者・家族からの状態発信を訪問看護及び救急行政が情報共有できることによる
患者支援(看取り支援も含む)
- ・ 住民情報を本人・家族・医療・介護・行政が共有することで日常からの容態・意識変化に
呼応した地域全体の支援の確立

カシオペア医療介護支援センターの活動の方向性について 総括

二戸市、一戸町、軽米町、九戸村の4市町村、それぞれの地域包括支援センター、二戸地区広域行政事務組合と一緒に、それぞれの地域包括ケアシステムをしっかりと構築し運営していくことが、極めて重要なことです。

地域包括ケアシステムの市町村への義務付けは、介護保険法に基づいており、市町村は、2025年を目途に、3年ごとの介護保険事業計画の策定・実施を通じて、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じた地域包括ケアシステムを構築していくことが求められています。

当NPO法人である特定非営利活動法人カシオペア医療介護支援センターでは、各市町村の自主性や主体性に基づく地域包括支援システムを把握したうえで、それらと協調し、情報共有しながら、円滑な運営に繋げるとともに、さまざまな問題課題を解決していく手助けをしていければと考えています。

円滑で的確な情報共有のために、情報通信技術（ICT）の活用で医療・介護・行政の連携を図りカシオペア地区としての地域包括ケアシステムの構築を目指しています。

さらには、カシオペア地区の「在宅医療に必要な連携を担う拠点」としての活動に繋げていくことにしています。

これらのことは、当NPOが単独で動くものではなく、関係機関とともに一緒になった体制により、対応していくものと考えています。

より良い形で行政、地域包括支援センター、医療、介護・福祉の連携を図っていくものですので、これからもご理解とご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

今後の取り組み

○カシオペアNET検討委員会の設置と活動の推進

○「カシオペアNET」を、福祉行政、医療及び介護を結ぶ地域全体の包括ケアに対応させ活用

○法人の目的に賛同する福祉、介護、行政団体及び事業所のNPO法人への入会依頼